

新横浜出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局
京浜河川事務所
新横浜出張所発行
電話045-476-5003
2012年09月10日【第30号】

駒岡防災船着場が 消防団の訓練で活用されています

駒岡防災船着場は平成22年3月に完成し、船が着けるようにと平成23年度に浚渫工事も行っています。

この船着場は、地元鶴見区の消防団（第7分団）による訓練場として活用されています。特に、ここでは、放水訓練や資機材を用いた訓練を何回か行っています。

（下記の写真は、訓練の様子）



鶴見川の駒岡防災船着場で『救援物資輸送訓練』が行われました

防災の日の9月1日に、関東の九都県市（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市）による防災訓練が横浜（みなとみらいや山下公園周辺）を会場として行われました。この訓練の一環として、鶴見区駒岡地先にある駒岡防災船着場を活用した救援物資輸送訓練が実施されました。

今回は、救援物資を陸路と鶴見川を利用した海路（河川）を活用して、訓練会場から市内各所へ輸送するという訓練を行ったものです。



船から荷下ろしを行い、赤帽の車に積み込んでいます。



パトカーに先導されて、駒岡小学校へ向かっています。

鶴見川の適正管理に向け 河川沿いの自治会への回覧等の協力をお願いします

回覧 国土交通省 京浜河川事務所
新横浜出張所からのお願い

== 鶴見川の堤防に 無断で ==
①個人で木や草花を植えること
②個人の物を置くこと
は認められていません ==

当出張所で管理している区画では、鶴見川、矢上川などの堤防に木や草花を植えたり、物置や会社の資材などを置いている方がいます。河川の堤防は、個人のものではありません。堤防を侵されている方は、自分の敷地に持ち物を移動して下さい。

水や草花を植えています

河川堤防です

堤防上に物を置かれています

問い合わせ先
国土交通省 京浜河川事務所
新横浜出張所
045-476-5003

ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/yokohama/>

『堤防に個人で物を植えて良いのですか?』『堤防に植えてあった菜の花を採ったら、私が植えたのよ採らないで、と言われた・・・。』と言った皆さんの声が寄せられています。

当出張所では、鶴見川や矢上川などの川沿いの自治会長さんをお願いして、左側に示したチラシを回覧して頂くことにしました。

河川区域(堤防上)などを会社の作業場として使っているような方やベランダが国有地にはみ出している方などには、文書や口頭による注意を行っています。

地域のモラル問題として話題にして頂き、少しでもこういう案件が減っていくことを願っています。

堤防上の木については、護岸や民地側の擁壁に影響がありそうなものは、少しずつ予算の範囲内で伐採させて頂いています。

鶴見川の堤防除草が新横浜出張所管内でも始まりました

鶴見川の堤防の異常の早期発見や強度維持等のため、堤防除草を行っています。

新横浜出張所管内でも9月1日から今年度2回目の除草が始まりました。鶴見川の堤防は、ここ数年間で外来種のセイバンモロコシが増え、茎が堅いので除草効率が下がり、除草作業に遅れが出ています。

除草回数は、引き続き年2回の実施となります。皆さんには、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

除草の予定工程は、京浜河川事務所のホームページにも掲載されていますが、詳しく知りたい方はお問い合わせ下さい。



あとがき

このところ局所的な豪雨があり、スマートフォン(略称スマホ)を使ってXバンドレーダの雨域をよく見えています。

9月1日は、横浜市鶴見区駒岡にある防災船着場に出かけて行きました。現地へは、自転車で向かう予定だったので、当日の朝空模様が良くなかったため、スマホを利用して天候を確認しました。

Xバンドレーダのアプリは、役立っています。

空に黒い雲があれば、スマホを覗くようになります。すると、何処かでどんな雨が降っているのか良くわかります。鶴見川流域が(スマホで見て)赤くなっていると、増水大丈夫かなと心配になりますが、目で確認出来るので、大いに役立っています。

さて、9月に入ると台風により決壊した多摩川の狛江市側(昭和49年)や鶴見川の堤防を乗り越えて流れ出した横浜市港北区大豆戸(昭和51年)を思い出します。当時私は、多摩川、鶴見川などを担当していた現京浜河川事務所で一担当者として勤務をしていました。多摩川では、目の前で家が流されるのを見ています。

9月は、台風シーズンと言われています。皆様、十分備えてください。

『新横浜出張所だより』編集長(上林喜美夫)

鶴見川流域センターは防災情報を発信中です

JR小机駅の近くにある、地域防災施設『鶴見川流域センター』は、流域にお住まいの皆様への情報発信施設として、また、洪水や地震時の防災拠点となる施設です。

この辺の小中学校は、夏休みが8月26日までだったようで、小中学生の来館者は減っています。

流域センターでは、Xバンドレーダの情報なども紹介しやすくするために、大きな画面で見られるようにしています。

屋上では、天気の良い日には、東京スカイツリーも見ることが出来ます。

是非、のぞいて見て下さい。



(秋はスズムシなども展示しています)

【毎週火曜日が休館日です】
住所 横浜市港北区小机町2081
電話 045-475-1998
(鶴見川流域センター直通)